



C・H・アリソン設計の傑作は、シーサイドでありながら立体的なホール構成。フェアウェイはうねり、いうまでもなく深いバンカーと高いグリーンが要所に出現。(18番 366ヤード パー4)



川奈ホテルGCは、ゴルフをして泊れるホテルがあるのではない。日本屈指のリゾートホテルが、富士と大島の36ホールを併設しているのだ。熱海から伊東線で相模灘を眺めながら川奈へ。旅とゴルフの楽しみを。

東の川奈

川奈ホテルゴルフコース(富士)

施設が贅沢なのではない。考えられる限りの居心地の良さを、客に提供するとリゾートはこうなる。時にはゴルフを忘れ、終日、テラスでの読書もいだろう。贅沢な時間がゆっくりと流れて行く。(15番 470ヤードパー5)

コースと海と対話して 3年半の 浦島太郎"ライフ"

佐々木孝則(川奈ホテルGC 育ち)

自叙伝を書くとしたら、おそらく『川奈の青春』の章は、数行で終わるでしょう。夜明けとともに起きてトレーニング、仕事、日没までラウンド、さらに練習で9時前にバツタリ。川奈ホテルGCでの研修生としての3年半、その繰り返しでした。今、単調極まりない日々を思い出すと、その1日毎の記憶が、日めくりカレンダーのように重なって蘇るのです。

大島が、近くにみえた。
海は、白い牙^{きば}をむいていた。
かなりの風があるらしかった。
漁舟が一隻、のろのろと動いている。
空には、雲ひとつなかった。
松林にかこまれたゴルフ・コースを、
点々とゴルフアーが歩いているのが
ながめられた。

丹羽文雄

中央公論社刊「日本の文学」より。文壇ゴルフの火付け役
であり、通称「丹羽学校」として多くの作家連中を指導した。

春夏秋冬、川奈・

富士ほど季節によ

って、様相が激変す

るコースはないでし

よう。冬は温暖で過ごしやすいの

ですが、たまに雪が降っても海側

の15番などは不思議と積もりませ

ん。9ホールが除雪できればクロ

ーズはせず、秋の台風でも宿泊客

が希望すれば「NO」とは言いま

せん。夏は堪え難い猛暑の中、キ

ヤデイさんは涼しい顔で、2パッ

グを担いで歩きます。

私が川奈に世話になったのは大

学を出てすぐの84年4月からで

実家を離れての社会人生活のスタート

でした。ただ、この日から私に

は何十人もの、お母さんができ

ました。コースの仕事を終えて日

が暮れるまでラウンドすれば、昨

日の夕食時間は過ぎてしまう。

「うちで、食べていきなよ……」

キャデイさんのご招待で家にお

邪魔すれば、ご主人の獲ってきた

ご馳走がドーンと、アワビは刻ん

でかき揚げに、伊勢海老はそのま

ま味噌汁に。料亭の素材を家庭料

理で食べ慣れると、刺身だのバター

ト焼きなどがアホらしくなります。

竜宮城の浦島太郎もさつと、同じ

想いだったことをしよう。



開場当時のキャデイは
セーラー服姿だった。

「ささき たけのり」
日大を卒業して川奈ゴルフの研修生。3年目の修業
を経てプロテスト合格が念願。指導法に定評あり。